

Grand Design 2025

中期経営計画（2021-2025年度）

**2021年5月11日
総合警備保障株式会社
（証券コード：2331）**

I GD2020（中期経営計画：2018-2020年度）の総括

II 社会・経済環境等の変化/ALSOKを取り巻く顧客・社会の変化

III GD2025（中期経営計画：2021-2025年度）

1 GD2025の基本方針

（1）社会の多様な安全・安心ニーズへの対応能力の強化

（2）デジタル化とデータ活用

（3）社員が活躍できる環境の構築

（4）サステナビリティへの取組強化

2 財務目標

I GD2020（中期経営計画：2018-2020年度）の総括

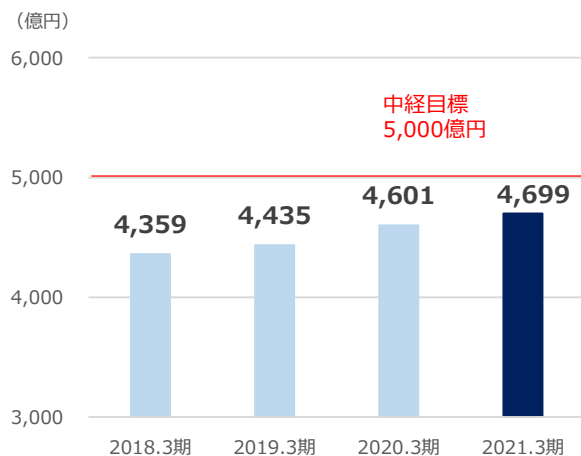


I GD2020の総括

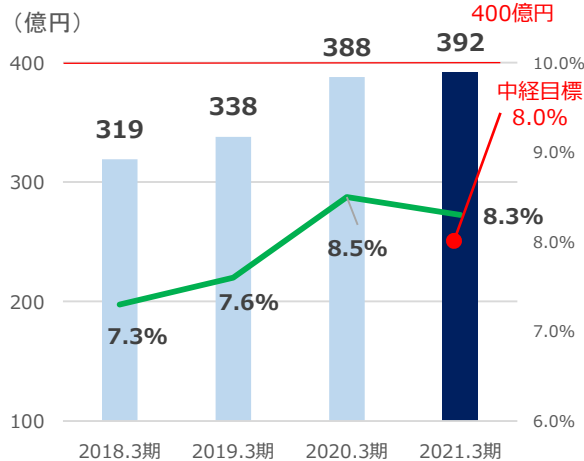
【財務目標の達成状況】

	目標値 (2018年5月発表)	実績 (2021年3月期)	2018年3月期 からの増減	目標値 との差異
連結売上高	5,000億円程度	4,699億円	+340億円	▲301億円
連結経常利益	400億円程度	392億円	+73億円	▲8億円
連結経常利益率	8.0%程度	8.3%	+1.0pt	+0.3pt
ROE	10.0%程度	9.6%	+0.3pt	▲0.4pt

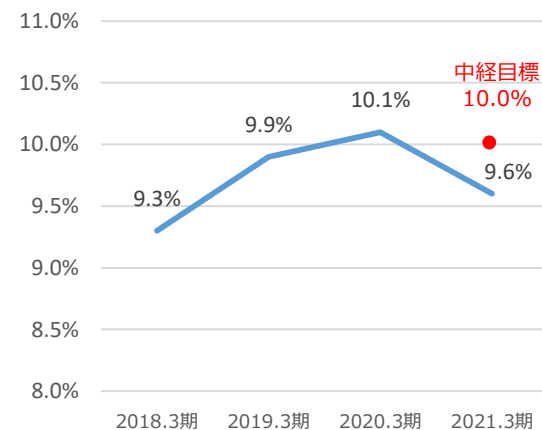
売上高



経常利益・経常利益率



ROE

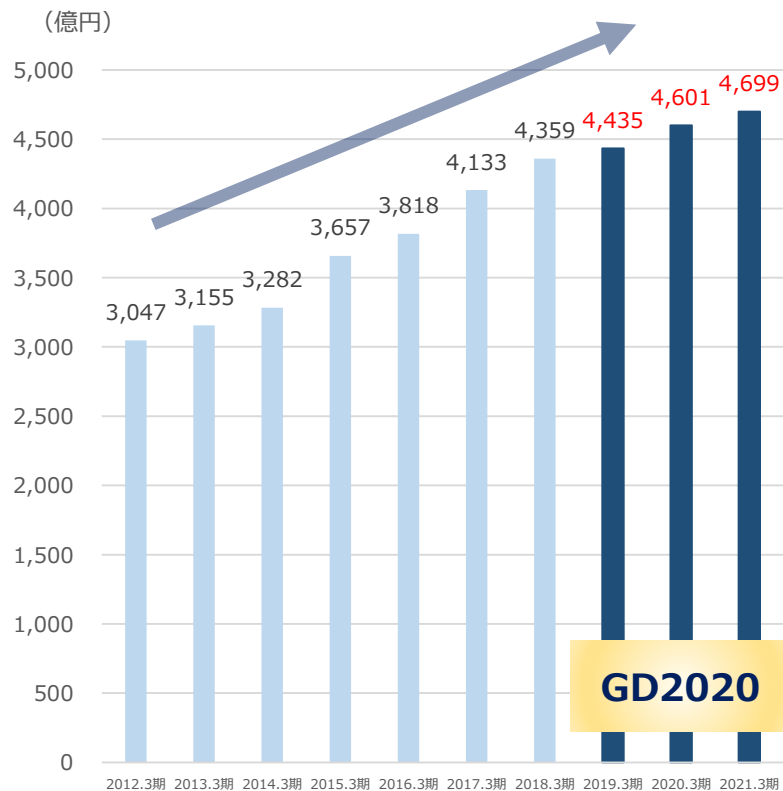


I GD2020の総括

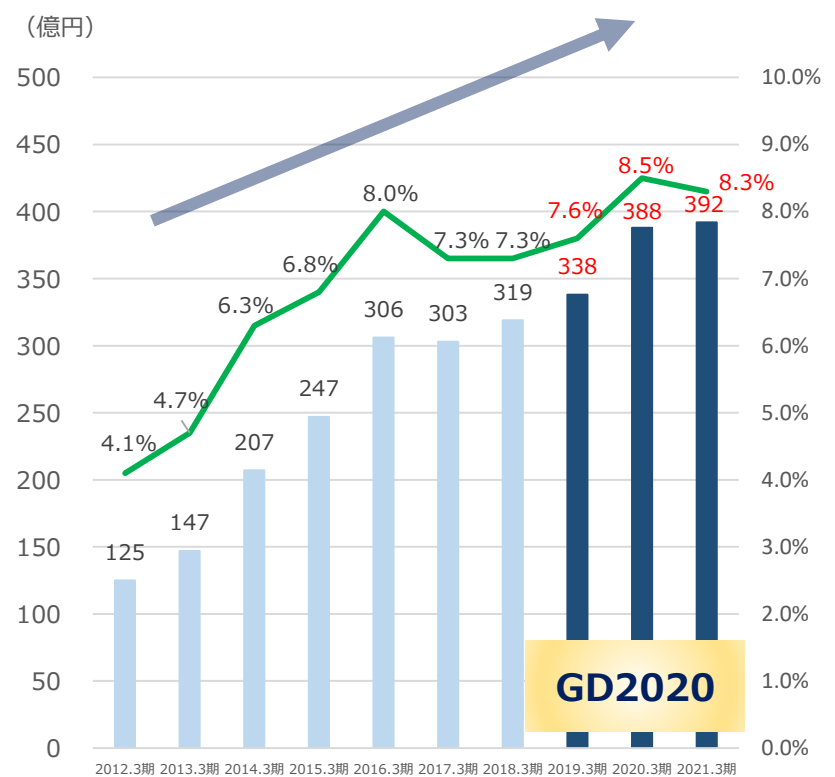
【業績推移（過去10カ年）】

GD2020期間において、目標未達成ながらも、順調に成長軌道は継続

売上高の推移



経常利益・経常利益率の推移



Ⅱ 社会・経済環境等の変化/ALSOKを取り巻く顧客・社会の変化

II 社会・経済環境等の変化/ALSOKを取り巻く顧客・社会の変化

【社会・経済環境等の変化】

グローバルな問題

- ▶ 感染症
- ▶ 米中対立の激化
- ▶ 地球温暖化
- ▶ 災害激甚化
- ▶ 海洋汚染・大気汚染等
- ▶ 森林破壊
- ▶ エネルギー、食料、水 等

我が国をめぐる問題

- ▶ 少子高齢化、労働人口の減少
- ▶ 単身世帯の増加
- ▶ 地方の過疎化、大都市集中
- ▶ 格差拡大
- ▶ 感染症、健康安全保障対策
- ▶ 不安定な東アジア安全保障環境 等

先端技術の進展

- ▶ AI、IoT
- ▶ 通信技術（5G、6G）
- ▶ 画像認識
- ▶ ブロックチェーン
- ▶ ビッグデータ活用
- ▶ バイオ、医療 等

【ALSOKを取り巻く顧客・社会の変化】

環境

- ▶ 感染症対策
- ▶ グリーン成長
- ▶ 国土強靱化（橋梁、インフラ、建物老朽化等）
- ▶ 防災・減災の強化
- ▶ 循環型社会構築に向けた貢献
- ▶ 生物多様性 等

地域・社会システム

- ▶ 身近な犯罪の多様化
- ▶ 社会的弱者へのサポート
- ▶ 地域における公共サービスの補完
- ▶ スマートシティ等新しい街づくり
- ▶ 金融の転換期におけるアウトソースニーズ 等

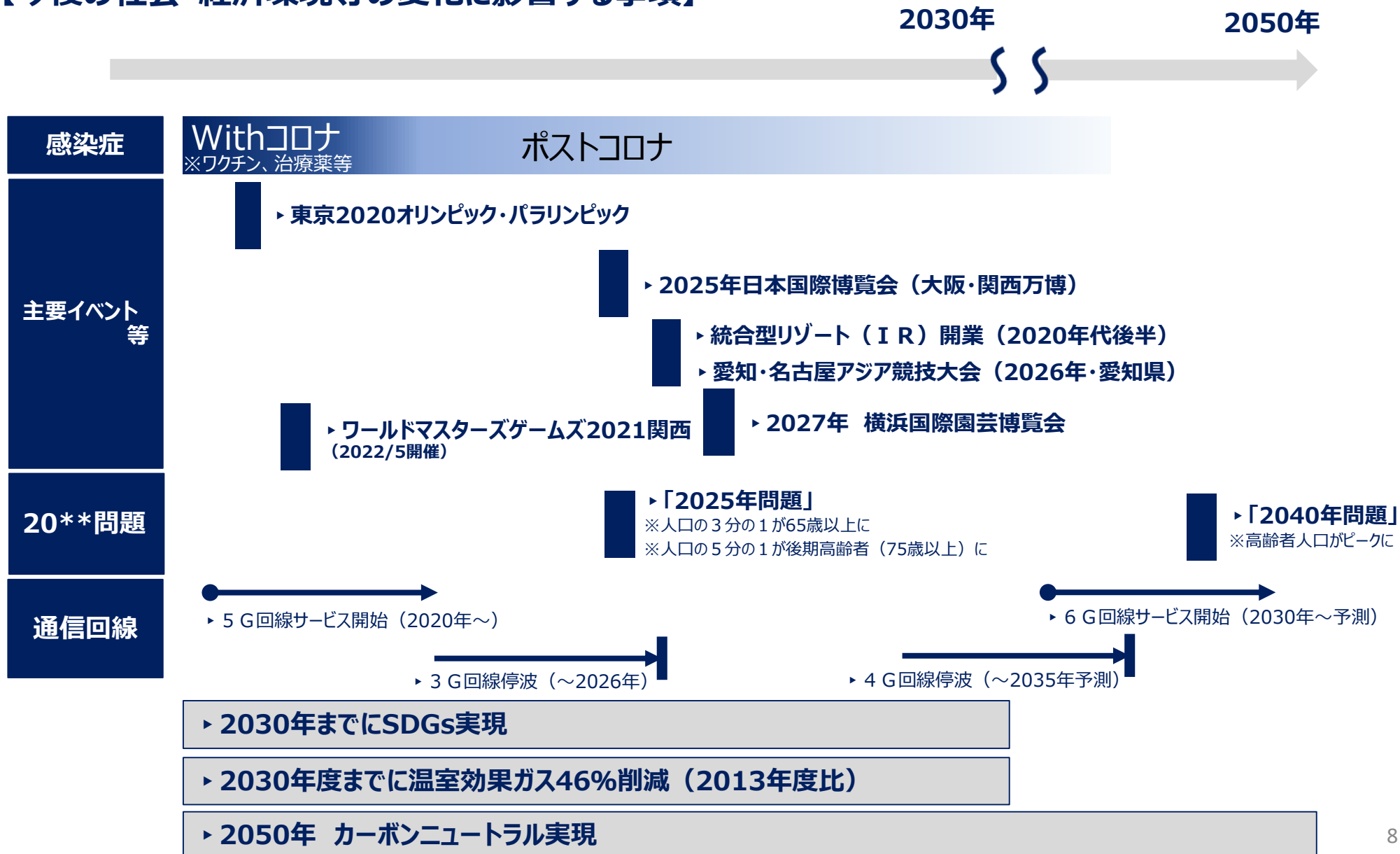
経済社会の構造

- ▶ デジタル化
- ▶ キャッシュレス対応
- ▶ サイバーリスクへの対応
- ▶ 感染症対策を踏まえたリモートワーク
- ▶ 働き方改革への対応
- ▶ 生産性向上
- ▶ ガバナンスの強化 等

**リスクが多様化する社会の中で、拡大する安全・安心ニーズを見据え、
 警備ビジネスモデルの変革を推進**

Ⅱ 社会・経済環境等の変化/ALSOKを取り巻く顧客・社会の変化

【今後の社会・経済環境等の変化に影響する事項】



Ⅲ GD2025（中期経営計画：2021-2025年度）

1 GD2025の基本方針

Ⅲ GD2025（中期経営計画：2021-2025年度）

1 GD2025の基本方針

ALSOKの目指す姿

リスクが多様化する社会の中で、拡大する安全・安心ニーズに対応すべく、
 警備ビジネスモデルの変革を推進し、**強靱な「総合安全安心サービス業」**を目指す。

基本方針

- (1) 社会の多様な安全・安心ニーズへの対応能力の強化
- (2) デジタル化とデータ活用
- (3) 社員が活躍できる環境の構築
- (4) サステナビリティへの取組強化

社会の多様な
安全・安心ニーズへの
対応能力の強化

- 警備・FM業等で培った内外インフラの強化と多様なサービス機能を組み合わせた新たなソリューションの創出
- 新技術を取り入れた迅速な商品・サービス開発

デジタル化とデータ活用

- デジタル化
 - ▶ 顧客とのコミュニケーション強化
 - ▶ オペレーションの効率化・省人化
 - ▶ デジタル技術等による機能補完
- データ活用
 - ▶ 収集データの分析
 - ▶ 外部データ連携

社員が活躍できる
環境の構築

- 人材多様化・能力開発
 - ▶ 多様な人材の採用
 - ▶ 多様な働き方の提供
 - ▶ 能力開発

サステナビリティへの
取組強化

- ガバナンスの強化
- SDGsへの取組み
- 環境問題への取組み

Ⅲ GD2025（中期経営計画：2021-2025年度）

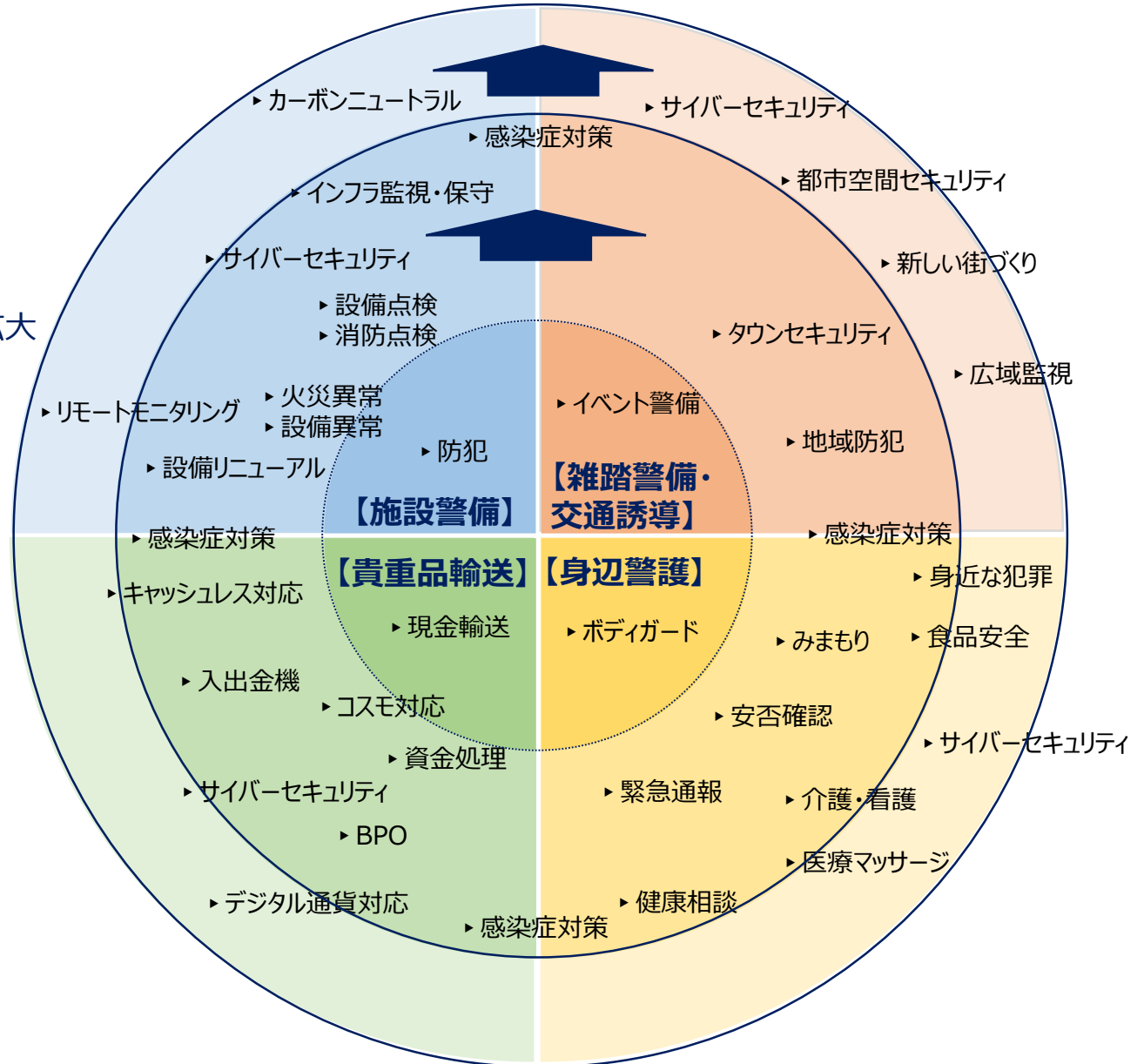
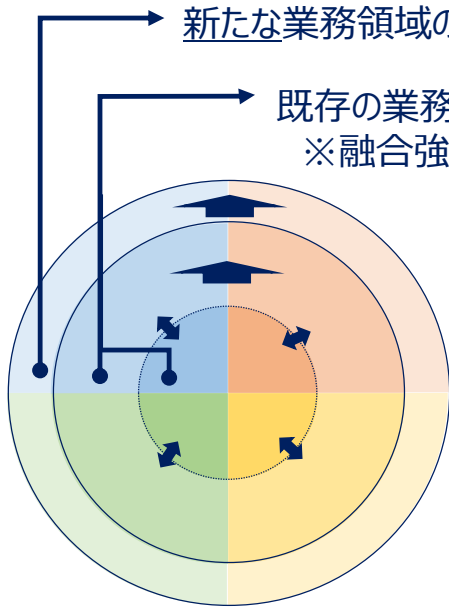
【警備ビジネスモデルの変革】

➡サービス領域の拡大

新たな業務領域の拡大

既存の業務領域

※融合強化による事業拡大



Ⅲ GD2025（中期経営計画：2021-2025年度）

1 GD2025の基本方針

（1）社会の多様な安全・安心ニーズへの対応能力の強化

Ⅲ 1 (1) 社会の多様な安全・安心ニーズへの対応能力の強化

- 警備・FM業等で培った内外インフラの強化と多様なサービス機能を組み合わせた新たなソリューションの創出

ALSOKの社内インフラ

24時間/365日対応

全国対応/海外6か国

監視センター
コールセンター

有資格者
(警備、技術、FM、介護)

更なる強化

「サービス機能」組み合わせ

遠隔監視



- ▶ 機械警備契約件数：約99万件
- ※ 集合住宅における対象戸数を含む：約178万件

現場（一次）対応



- ▶ 警備拠点：約3,000

保守/メンテナンス



- ▶ 綜管・防災契約件数：約11.4万件
- ▶ 施工管理技士・電気工事士：延べ約1,900名
- ▶ 消防設備士：延べ約3,700名

介護/看護



- ▶ 介護等サービス契約件数：約2.7万件
- ▶ 介護拠点：約400
- ▶ 介護福祉士：約2,000名

海外



- ▶ 海外6か国に展開

外部とのアライアンス（連携）による対応力強化

マーケットイン視点で、リスクが多様化する社会の中での、
拡大する安全・安心ニーズに対応した新たなソリューションを創出

Ⅲ 1 (1) 社会の多様な安全・安心ニーズへの対応能力の強化

■ 新技術を取り入れた迅速な商品・サービス開発



「機器の高度化・多機能化」

画像認識・音声認識技術を含む
各種技術の活用

防犯カメラ等 犯罪抑止・証拠映像
+
混雑状況・購買行動・異常音検知

GS 防犯・非常通報
+
環境監視・機器遠隔操作・データ収集

HS 防犯・非常通報
+
みまもり・地域防犯・自治体連携 等

「予兆検知・識別機能」

5G・ビッグデータ・AI等の活用

未然防止

迅速な初期対応

- ▶ 広域監視 (火災、車両交通、人流等)
- ▶ 行動認識 (要支援者・不審行動検知)
- ▶ 混雑状況

 火災検知



 渋滞検知 等

「遠隔/リモート化」

5G・ドローン・ロボット等の活用

遠隔操作・保守

無人化・省人化

介護・看護分野の効率化

- ▶ デジタル化
- ▶ 離床センサー
- ▶ 介護ロボット 等

新技術を取り入れた、商品・サービス開発による差異化・高付加価値化

Ⅲ GD2025（中期経営計画：2021-2025年度）

1 GD2025の基本方針

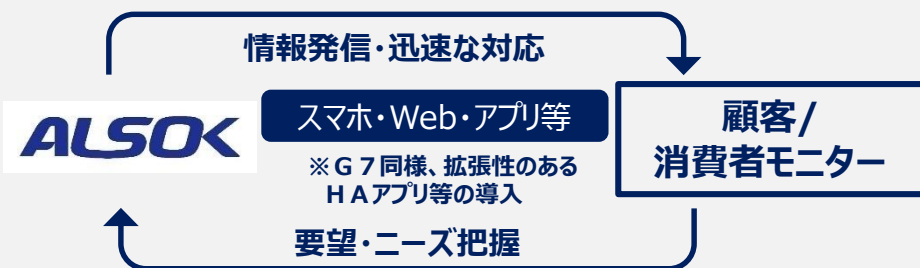
（2）デジタル化とデータ活用

Ⅲ 1 (2) デジタル化とデータ活用

【デジタル化/データ活用（データ駆動型）】

▶ 顧客とのコミュニケーション強化

双方向コミュニケーション



▶ データ活用

顧客価値創出

サービス品質向上



▶ オペレーションの効率化・省人化

(フロント部門)

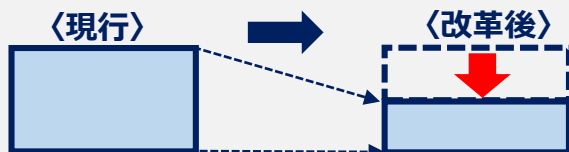
- ▶ 遠隔画像監視
- ▶ リモート化推進
- ▶ ドローン、ロボット等の活用
- ▶ 設備の自動化 等

(バックオフィス)

- ▶ データ連携
- ▶ 自動化
- ▶ 書類電子化 等

▶ デジタル技術等による機能補完

- ▶ リモートによる営業支援
- ▶ 高度な技術業務への遠隔支援「リモートサポート」
- ▶ 顧客情報連携 等



※警備・FM業務の増加に伴う人員増を抑制する。

Ⅲ GD2025（中期経営計画：2021-2025年度）

1 GD2025の基本方針

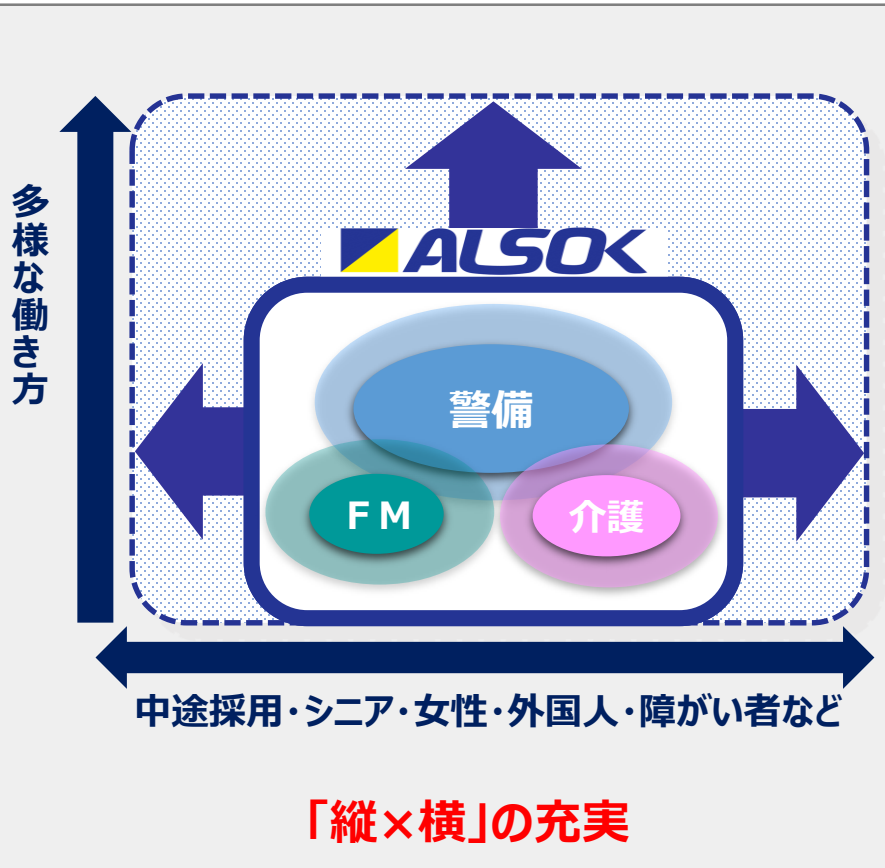
（3）社員が活躍できる環境の構築

Ⅲ 1 (3) 社員が活躍できる環境の構築

人材多様化・能力開発

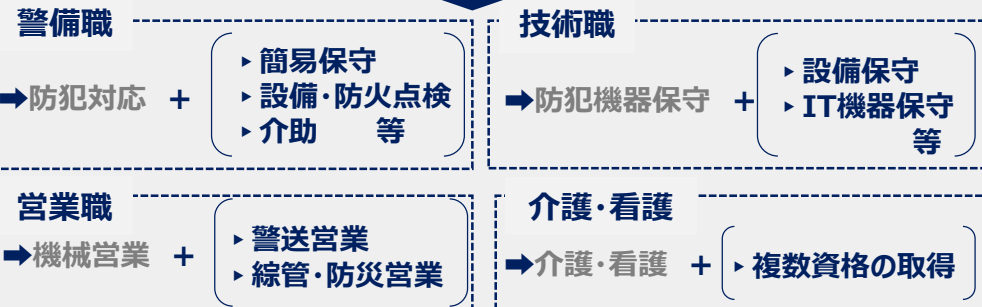
～ 警備・FM・介護事業を牽引する人材の強化 ～

人材多様化



能力開発

- ▶ 研修体系の整備 (国内外での交流含む)
 - ▶ 計画的なOJT、Off-JT
 - ▶ 資格取得推奨 (防災、電気通信、工事、統括防火管理者、介護等)
 - ▶ 自己啓発への支援
 - ▶ 社員の自律性を生かしたキャリア形成
 - ▶ グループ内での人材流動化
 - ▶ 在外公館・海外現地法人等への派遣
- ※1980年以降延べ850名以上



業務対応能力の多角化

個々の働き手が持てる能力を最大限に発揮できる制度、環境を整備し、エンゲージメントを高めながら、ALSOKの働き方改革を深化

Ⅲ GD2025（中期経営計画：2021-2025年度）

1 GD2025の基本方針

（4）サステナビリティへの取組強化

Ⅲ 1 (4) サステナビリティへの取組強化

【ガバナンスの強化】

- ▶ 持続的成長の実現
- ▶ グループ体制の見直し
- ▶ 中長期的な企業価値の向上
- ▶ 経営効率化

株主の権利
平等性の確保

株主との
対話の実施

ガバナンスの強化

株主以外の
ステークホルダー
との適切な協働

取締役会等の
責務の遂行

適切な情報開示と
透明性の確保

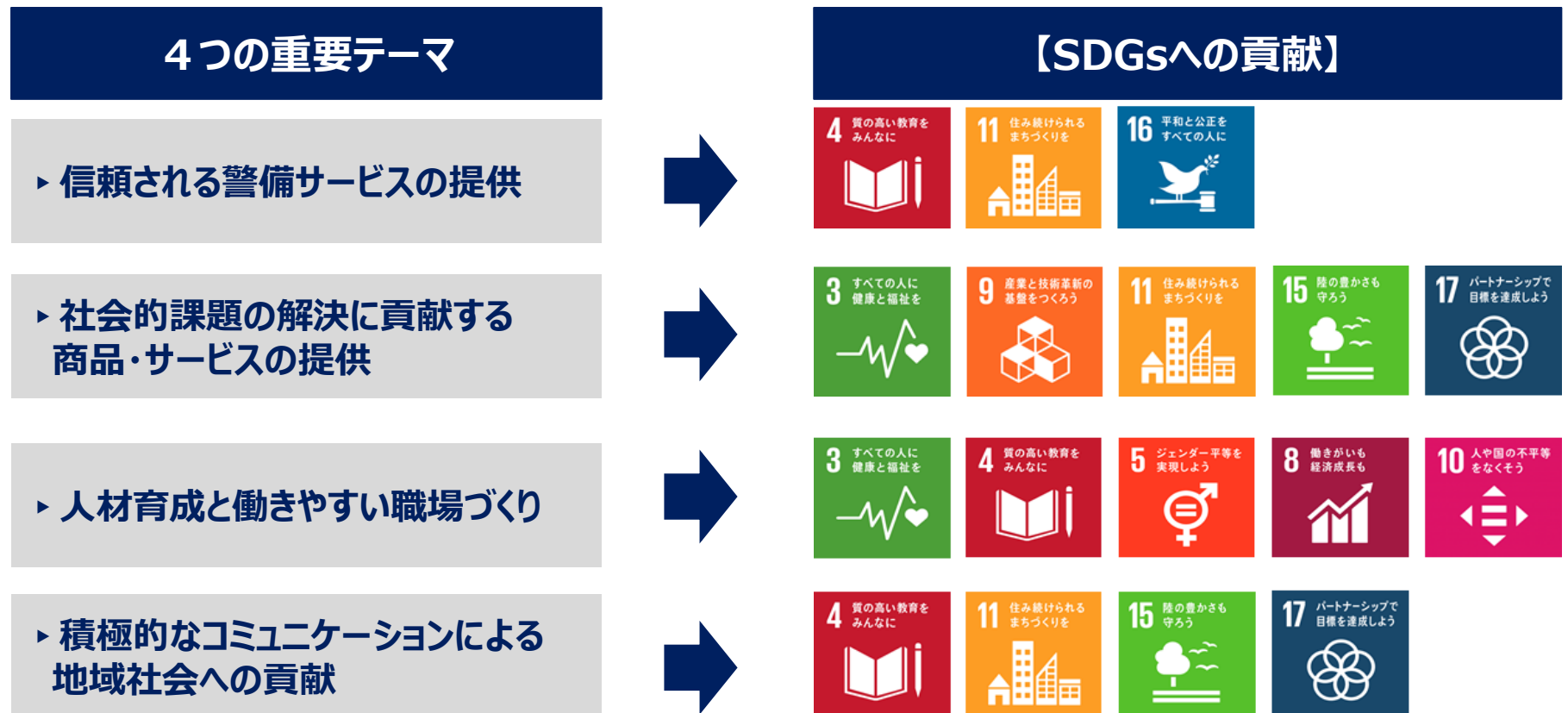
綜警憲章（経営理念）

我が社は、「ありがとうの心」と「武士の精神」をもって社業を推進し、
 お客様と社会の安全・安心の確保のために最善を尽くす。

Ⅲ 1 (4) サステナビリティへの取組強化

【SDGsへの取組み】

ALSOKは、創業の精神に基づき、ALSOKの強みである人材力、組織力、信頼ならびにCSRへの取り組みにより、持続可能な社会の実現とSDGsの達成に貢献します。



Ⅲ 1 (4) サステナビリティへの取組強化

【環境問題への取組み】

ALSOKは、地球環境問題が人類共通の課題であるとの認識のもと、持続可能な社会の実現に貢献することを目指して環境に配慮した活動を推進していきます。

【具体的取組み】

<p>カーボンニュートラルへ向けた取組み</p>	<p>■ CO2削減に向けた取組強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ グリーン調達 ▶ 次世代車両への入れ替え ▶ グリーン電力
<p>循環経済に向けた取組み</p>	<p>■ 循環性の高いビジネスモデルへの転換</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 3R等の推進 ▶ 商品・サービスにかかわる環境配慮設計の強化 <ul style="list-style-type: none"> ※長期使用可能な製品・サービス設計（耐久性、アップグレード性等） ※メンテナンスを含めた製品の有効活用
<p>環境マネジメント</p>	<p>■ 環境対応に対してステークホルダーからの信頼獲得</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 環境マネジメントシステムISO14001のグループ全社への導入 ▶ 国際的なイニシアチブ（TCFD等）への賛同 ▶ ALSOKグループの環境ガバナンスへの取組強化 ▶ 取組状況の積極的な情報発信
<p>社会の課題解決への貢献</p>	<p>■ 新商品・サービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ エネルギーマネジメントサービスの提供 ▶ 環境モニタリング ▶ 防災・減災対策 ▶ 水素ステーション・EV充電施設等の運営サポート

Ⅲ GD2025（中期経営計画：2021-2025年度）

2 財務目標

Ⅲ 2 財務目標

【財務目標】

	実績 (2021.3月期)	目標値 (2026.3月期)
連結売上高	4,699億円	6,500億円程度
連結経常利益	392億円	650億円程度
連結経常利益率	8.3%	10%以上
ROE	9.6%	10%以上

配当性向30%を目安に安定配当を維持

<将来のグループ規模>

売上：1兆円程度
 利益：1,000億円程度

【投資計画 (CFベース)】

(単位：億円)

項目	2022.3月期～ 2026.3月期
研究開発・デジタル関連等投資	700
M&A等	500

※参考 (キャッシュ増加予測)

2022.3月期～2026.3月期におけるキャッシュ増	1,100
-----------------------------	-------



本資料に記載されている財務目標等の将来に関する記述は、現時点での情報に基づいて当社が作成したものであり、環境変化等の様々な要因により大きく異なる可能性があります。